

第 2 章

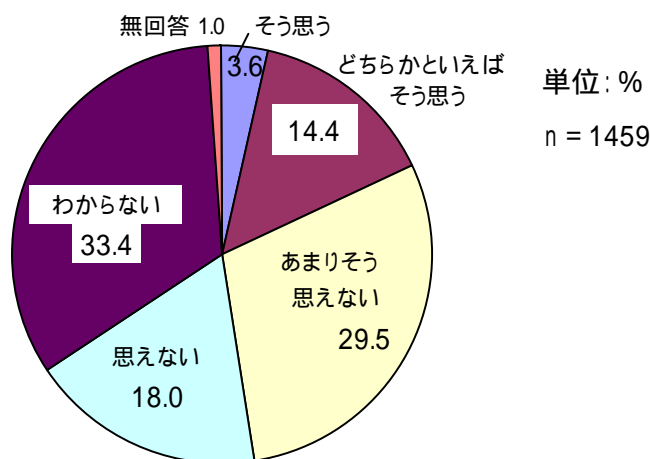
4 「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度

(1) 市民協働の推進状況

施策 01 市民自治の推進：市民協働を進めているまちであると感じている市民の割合

“そう思う”は少数で、“そう思えない”を下回っている

問4 「協働」とは、市民の皆さんと行政が、それぞれの立場や能力を理解、尊重しつつ、対等なパートナーとして連携し、課題に取り組むことをいいます。あなたは、市が市民協働のまちを進めていると感じますか。(は1つだけ)



本市が市民協働を進めているまちであるかきいたところ、「そう思う」(3.6%)と「どちらかといえばそう思う」(14.4%)を合わせた割合(=“そう思う”)は18.0%と少数であった。他方、「あまりそう思えない」(29.5%)と「思えない」(18.0%)を合わせた割合(=“そう思えない”)は47.5%と、5割弱となっている。また、「わからない」との回答が3割を上回っている。

(2) 現在の市政情報入手方法の満足度

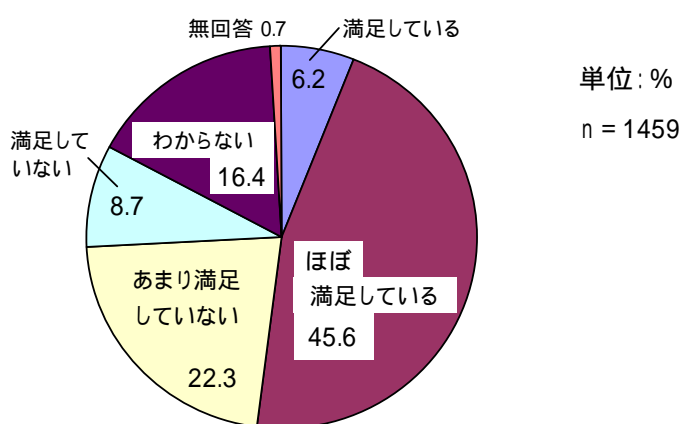
施策 04 説明責任の着実な実行：市政情報が容易に入手できると感じる市民の割合

“満足している”が5割を超え、“満足していない”を大きく上回っている

問5 市は、市政の情報を、積極的に配信・提供していますが、あなたは、現在の市政情報の入手方法に満足していますか。

市の情報は、広報はちおうじ、ホームページ、議会だより、町会・自治会の回覧物や掲示物、地域の新聞（ミニコミ紙）、市で作成したパンフレット・ポスター、新聞・テレビなどのマスメディア、八王子テレメディア、JR 八王子駅前河川情報板などで配信・提供しています。

(は1つだけ)



現在の市政情報の入手方法に「満足している」(6.2%) は少数であるが、「ほぼ満足している」との答えは、45.6%と最も多くなっている。

「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた“満足している”の割合は51.8%と半数を超えている。また「あまり満足していない」(22.3%)、「満足していない」(8.7%)を合わせた“満足していない”の割合は31.0%となっている。

【性別】

* 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

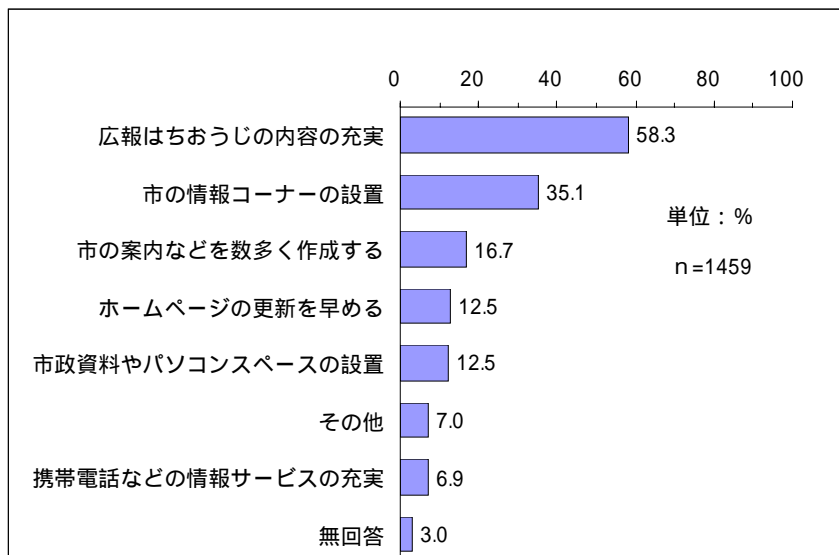
		全体	満足している	ほぼ満足している	あまり満足していない	満足していない	わからない	無回答
合計		1459	90	666	326	127	240	10
		100.0	6.2	45.6	22.3	8.7	16.4	0.7
性別	男性	636	34	271	165	65	98	3
		100.0	5.3	42.6	25.9	10.2	15.4	0.5
性別	女性	790	52	382	154	61	136	5
		100.0	6.6	48.4	19.5	7.7	17.2	0.6

男性では不満足層の割合がやや高く、女性では反対に満足層の割合がやや高くなっている。

(3) 市政情報入手の効果的な改善点

「広報はちおうじの内容の充実」という意見が多い

問6 あなたは、市政の情報の入手にあたり、どのような点を改善するのが効果的だと思いますか。
(○は2つまで)



市政情報の入手にあたっての効果的な改善点としては、「広報はちおうじの内容を充実させる」という回答が最も多く、6割近く(58.3%)に達している。

「市の情報コーナー(情報スペース)の設置」との答えが、3割台の半ば(35.1%)を占めそれに続いている。

【性別】

* 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

		全体	広報はち おうじの 内容の充 実	市の案内 などを数 多く作成 する	ホーム ページの 更新を早 める	市政資料 やパソコ ンスペース の設置	携帯電話 などの情 報サービ スの充実	市の情報 コーナー の設置	その他	無回答
合計		1459 100.0	851 58.3	243 16.7	183 12.5	182 12.5	101 6.9	512 35.1	102 7.0	44 3.0
性別	F1 男性	636 100.0	383 60.2	92 14.5	112 17.6	74 11.6	46 7.2	200 31.4	49 7.7	15 2.4
	女性	790 100.0	449 56.8	145 18.4	67 8.5	105 13.3	53 6.7	301 38.1	53 6.7	26 3.3

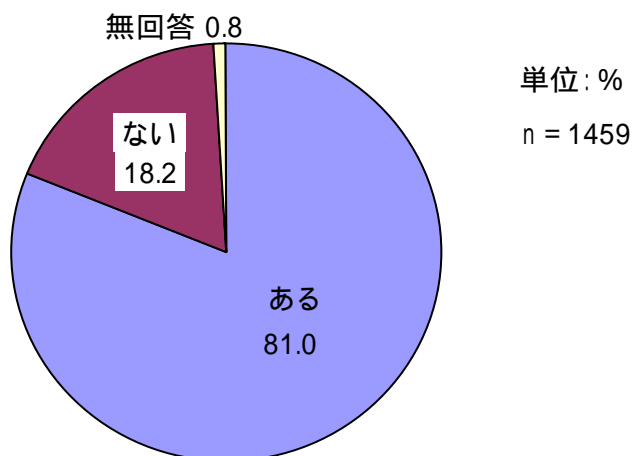
女性で「市の案内などを数多く作成する」、「市の情報コーナーの設置」との回答が男性より多く(それぞれ3.9、6.7ポイントの差) 逆に「ホームページの更新を早める」との回答は、女性より男性で約9ポイント多くなっている。

(4) 市の窓口の利用の有無

施策 05 市民サービスの向上：窓口サービスに満足している市民の割合

「ある」人の方が圧倒的に多く、8割強を占める

問7 あなたは、この1年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことはありますか。(は1つだけ)



この1年間に市の窓口を利用したことが「ある」という答えが8割強を占めていて(81.0%)、「ない」(18.2%)を大きく上回っている。

【居住地域別】 * 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

		全体	ある	ない	無回答
合計		1459	1182	266	11
		100.0	81.0	18.2	0.8
居住地域	F9 本庁管内(中央地域)	331	277	52	2
		100.0	83.7	15.7	0.6
	元八王子・恩方・川口(西部地域)	237	187	47	3
		100.0	78.9	19.8	1.3
	浅川・横山・館(西南部地域)	288	217	69	2
		100.0	75.3	24.0	0.7
	加住・石川(北部地域)	110	91	18	1
	100.0	82.7	16.4	0.9	
	由井・北野(東南部地域)	216	176	39	1
	100.0	81.5	18.1	0.5	
	由木・由木東・南大沢(東部地域)	242	208	32	2
	100.0	86.0	13.2	0.8	

全地域で「ある」が7割超となっているが、特に由木・由木東・南大沢(東部地域)で割合が高く、86.0%に達している。

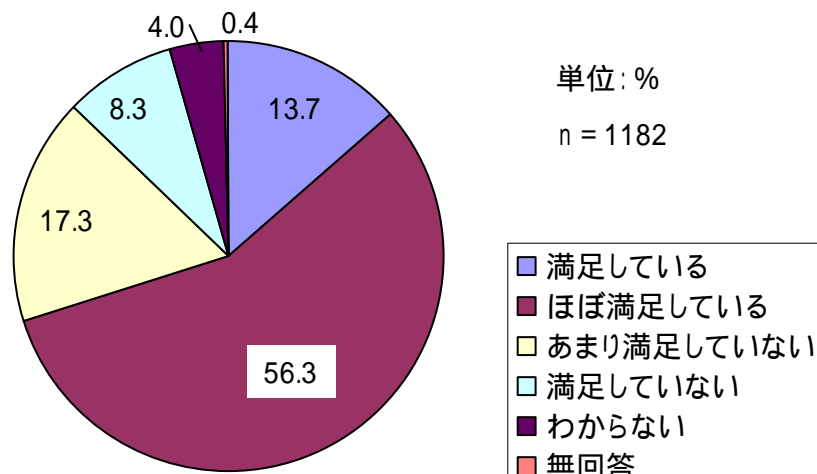
浅川・横山・館(西南部地域)では、「ある」の割合が反対に比較的低く、75.3%にとどまっている。

(5) 市の窓口サービスの満足度

利用したことのある人の7割が“満足”

(問7で「1 ある」と答えた方に)

問7 - 1 あなたは、市の窓口サービスに満足していますか。(は1つだけ)



問7で「ある」と回答した人に窓口サービスの満足度合をきいた結果、「ほぼ満足している」との答えが56.3%と最も多く、「満足している」(13.7%)と「ほぼ満足している」の合計(=“満足”)は、ちょうど70.0%に達している。

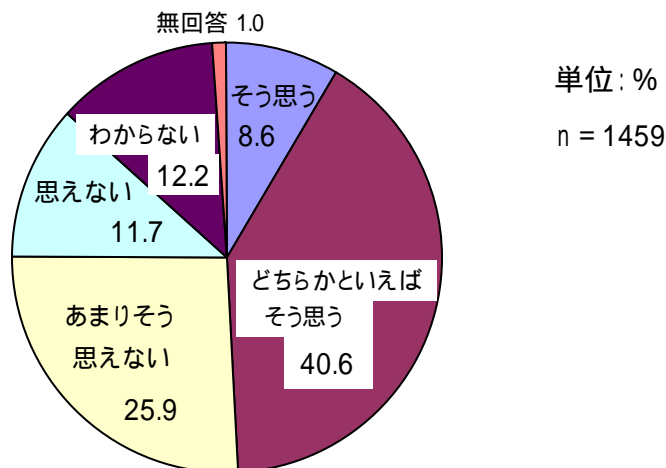
「あまり満足していない」(17.3%)と「満足していない」(8.3%)を合算した“満足していない”の割合は25.6%となっている。

(6) 平和で安心して暮らせるまちであるか

施策 10 人とひととの支え合い：住みたいと思う市民の割合

「そう思う」「どちらかといえば」が約5割と、やや多い

問8 あなたのお住まいの地域は、だれもが互いに思いやりを持ち、人とひとが支え合う平和で安心して暮らせるまちであると思いますか。(は1つだけ)



「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計が49.2%と約5割を占めているが、「あまりそう思えない」、「思えない」の合計の割合も、37.6%と比較的接近している。

【居住地域別】

* 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

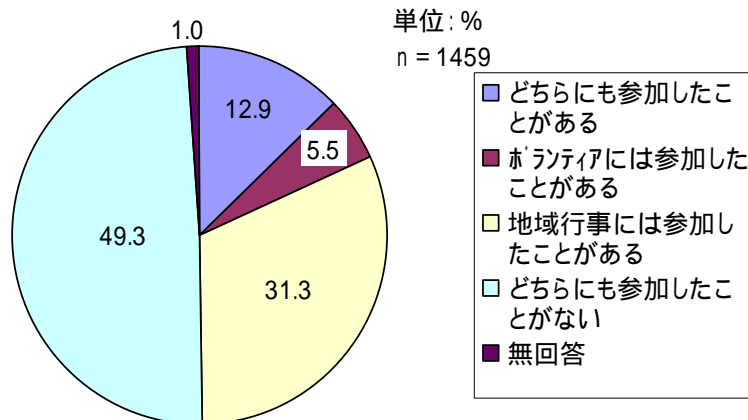
		全体	そう思う	どちらか といえば そう思う	あまりそ う思えな い	思えない	わから ない	無回答
合計		1459	125	593	378	170	178	15
		100.0	8.6	40.6	25.9	11.7	12.2	1.0
居住 地域	F9 本庁管内(中央地域)	331	35	132	91	39	32	2
		100.0	10.6	39.9	27.5	11.8	9.7	0.6
	元八王子・恩方・川口(西部地域)	237	17	93	67	29	25	6
		100.0	7.2	39.2	28.3	12.2	10.5	2.5
	浅川・横山・館(西南部地域)	288	26	114	72	37	38	1
		100.0	9.0	39.6	25.0	12.8	13.2	0.3
	加住・石川(北部地域)	110	11	48	30	11	9	1
	100.0	10.0	43.6	27.3	10.0	8.2	0.9	
由井・北野(東南部地域)	216	17	99	49	19	30	2	
	100.0	7.9	45.8	22.7	8.8	13.9	0.9	
由木・由木東・南大沢(東部地域)	242	17	96	58	32	37	2	
	100.0	7.0	39.7	24.0	13.2	15.3	0.8	

由井・北野(東南部地域)及び加住・石川(北部地域)で「どちらかといえばそう思う」が全体平均を数ポイント上回っているが、居住地域による大きな違いは見られない。

(7) この1年間の地域行事等への参加

施策 11 地域での支え合い：地域の中でボランティア活動や行事に参加したことがある市民の割合
約5割の人が、地域行事などに参加している

問9 あなたは、この1年間に公園清掃などのボランティア活動や盆踊りなど地域行事に参加したことがありますか。(は1つだけ)



「どちらにも参加したことがない」という回答が最も多く、半数弱を占めている。

どちらか一方に参加したことがあるという人では、「地域行事」には参加したことがあるという人が31.3%、「ボランティア」には参加したことがあるという人が5.5%で、「どちらにも参加したことがある」(12.9%)を合算すると49.7%となり、約5割の人が地域行事などに参加していることが分かる。

【居住年数別】

* 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

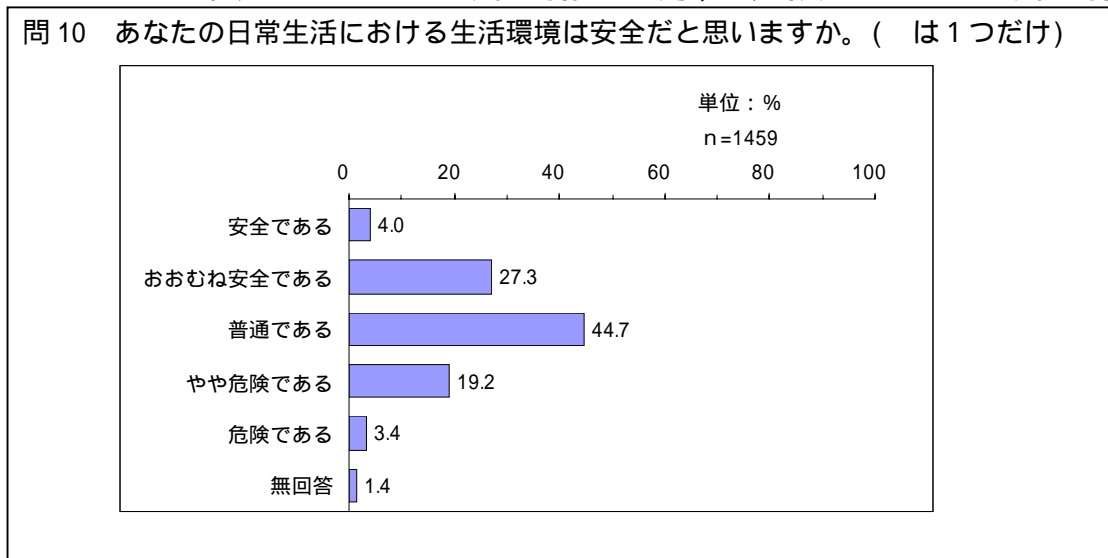
		全体	どちらにも参加したことがある	ボランティアには参加したことがある	地域行事には参加したことがある	どちらにも参加したことがない	無回答
合計		1459 100.0	188 12.9	80 5.5	457 31.3	719 49.3	15 1.0
F6 居住年数	1年未満	54 100.0	2 3.7	2 3.7	4 7.4	46 85.2	0 0.0
	1～3年未満	63 100.0	3 4.8	3 4.8	12 19.0	45 71.4	0 0.0
	3～10年未満	216 100.0	22 10.2	13 6.0	63 29.2	117 54.2	1 0.5
	10～20年未満	228 100.0	25 11.0	14 6.1	80 35.1	107 46.9	2 0.9
	20年以上	568 100.0	84 14.8	40 7.0	179 31.5	258 45.4	7 1.2
	生まれてからずっと	305 100.0	46 15.1	8 2.6	107 35.1	139 45.6	5 1.6

「どちらにも参加したことがある」は居住年数が長くなるほど漸増する傾向にあり、20年以上と生まれてからずっとの人では15%前後に達する。他方、居住年数が10年未満の人では「どちらにも参加したことがない」の割合が大きく、居住年数が短いほど参加率が低くなっている。

(8) 日常生活環境の安全度

施策 11 地域での支え合い：市民が感じる地域生活環境の安全度

“安全である”が約3割 一方、“危険である”は約2割



日常生活における生活環境の安全性について、「普通」(44.7%)とした答えが最も多くなっている。

また「安全である」、「おおむね安全である」とする回答の合計(=「安全である」)は31.3%であるのに対して、「やや危険である」、「危険である」の回答の合計(=「危険である」)の割合は22.6%となっている。

【居住地域別】

* 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

		全体	安全である	おおむね安全である	普通である	やや危険である	危険である	無回答
合計		1459 100.0	59 4.0	398 27.3	652 44.7	280 19.2	50 3.4	20 1.4
居住地域	本庁管内(中央地域)	331 100.0	16 4.8	106 32.0	134 40.5	64 19.3	8 2.4	3 0.9
	元八王子・恩方・川口(西部地域)	237 100.0	7 3.0	65 27.4	116 48.9	39 16.5	5 2.1	5 2.1
	浅川・横山・館(西南部地域)	288 100.0	14 4.9	77 26.7	131 45.5	54 18.8	10 3.5	2 0.7
	加住・石川(北部地域)	110 100.0	2 1.8	26 23.6	53 48.2	24 21.8	4 3.6	1 0.9
	由井・北野(東南部地域)	216 100.0	5 2.3	52 24.1	97 44.9	40 18.5	17 7.9	5 2.3
	由木・由木東・南大沢(東部地域)	242 100.0	14 5.8	70 28.9	100 41.3	49 20.2	6 2.5	3 1.2

“安全である”の割合は、全体平均と比較して、本庁管内(中央地域)と由木・由木東・南大沢(東部地域)で少し高くなっている。一方、加住・石川(北部地域)と由井・北野(東南部地域)でやや低くなっている。

(9) 市の相談窓口の利用の有無

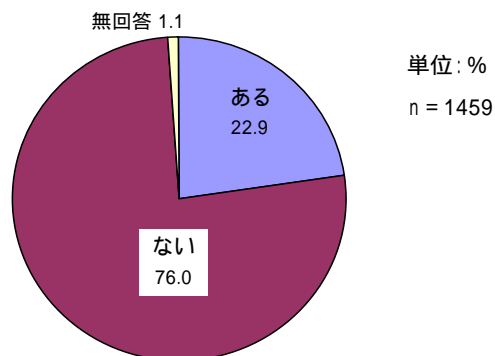
施策 12 暮らしの相談・支援：相談の機会が充実していると感じる市民の割合

「ある」は2割強にとどまり、「ない」が7割台半ばと多数

問 11 市では、様々な相談を行っています。あなたは、市の相談窓口を利用したことがありますか。

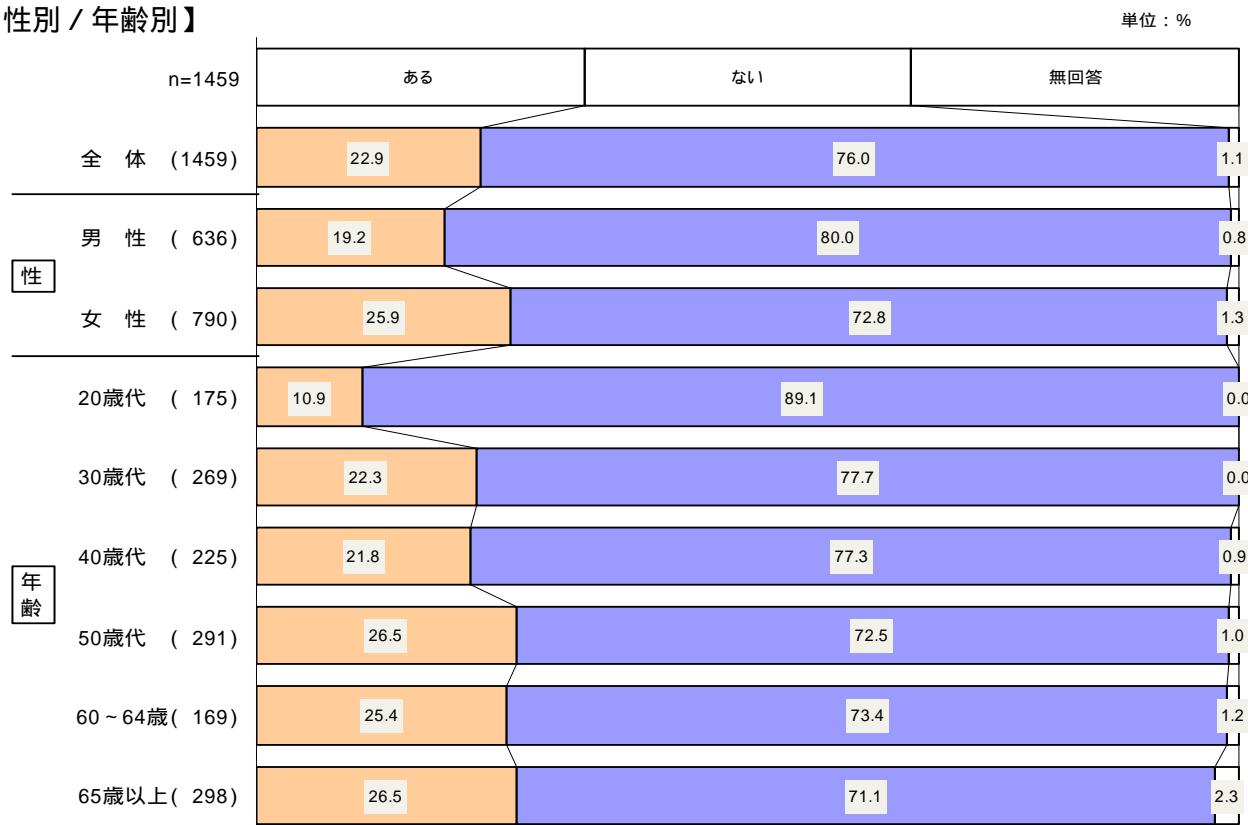
市で行っている相談は、健康・栄養・歯、母子・福祉、女性のための相談、法律、不動産、登記、税金、相続・遺言等暮らしの手続、年金・雇用保険・労働条件相談、行政、外国人生活相談、人権、交通事故、消費者、子育て、心の相談、総合教育相談、こども電話相談などです。

(は1つだけ)



利用したことが「ある」(22.9%)は2割を超えるにとどまり、4人に3人の人が「ない」と答えている。

【性別 / 年齢別】



男性より女性の方が相談窓口をよく利用している。

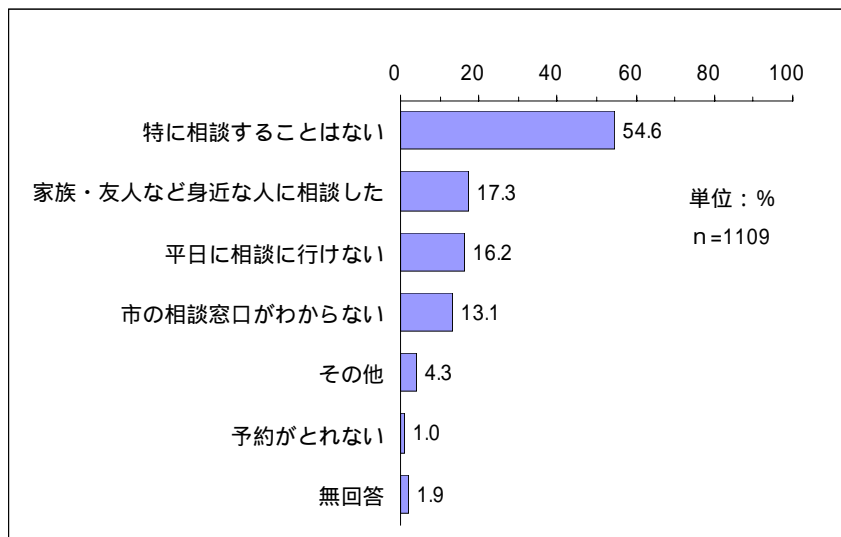
また年齢別では、20歳代の人の利用度が低くなっており、「ない」が約9割を占めている。

(10) 相談窓口を利用しない理由

「特に相談することはない」が半数強で突出

(問11で「2 ない」と答えた方に)

問11-1 市の相談窓口を利用しないのはなぜですか。(○は2つまで)



問11で「ない」と答えた人に理由をきいたところ、「特に相談することはない」から(54.6%)が半数強を占めている。

第2、3位は「身近な人に相談した」から(17.3%)、「平日に相談に行けない」から(16.2%)という理由となっている。

【性別】

* 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

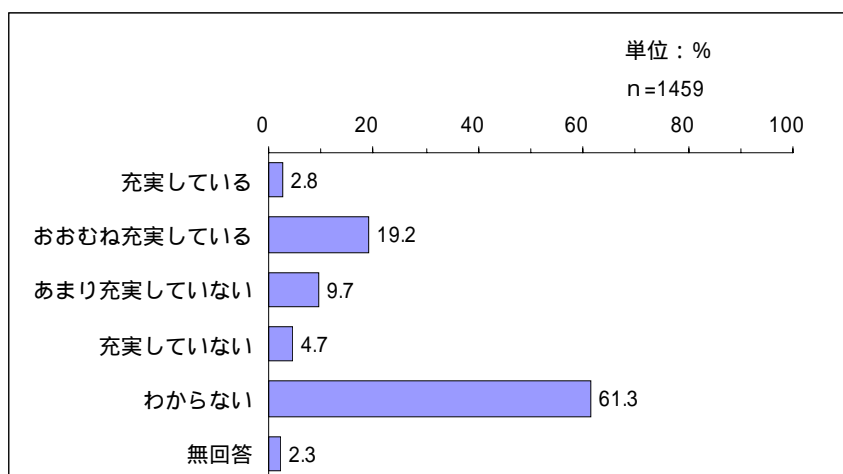
		全体	予約がとれない	平日に相談に行けない	家族・友人など身近な人に相談した	市の相談窓口がわからない	特に相談することはない	その他	無回答
合計		1109 100.0	11 1.0	180 16.2	192 17.3	145 13.1	605 54.6	48 4.3	21 1.9
性別	男性	509 100.0	7 1.4	106 20.8	60 11.8	69 13.6	286 56.2	22 4.3	4 0.8
	女性	575 100.0	4 0.7	69 12.0	128 22.3	74 12.9	307 53.4	26 4.5	15 2.6

男性で「平日に相談に行けない」から、女性では「身近な人に相談した」から、という回答の割合が大きくなっている。

(11) 市の相談窓口の充実度

“充実している”が2割強 “充実していない”は1割台半ば近く

問 12 あなたは、市の相談窓口が充実していると思いますか。(は1つだけ)



「わからない」との回答がいちばん多く6割強を占め、市の相談窓口をそもそも利用したことのない人が多い事が見てとれる。

「充実している」(2.8%)との回答は少数にとどまるが、「おおむね充実している」(19.2%)を合算すると、“充実している”(22.0%)で2割を超える結果となる。他方、「あまり充実していない」(9.7%)・「充実していない」(4.7%)を合算した“充実していない”は14.4%と、1割台となっている。

利用したことがある人の中では、「充実している」と感じている人が多いことが分かる。

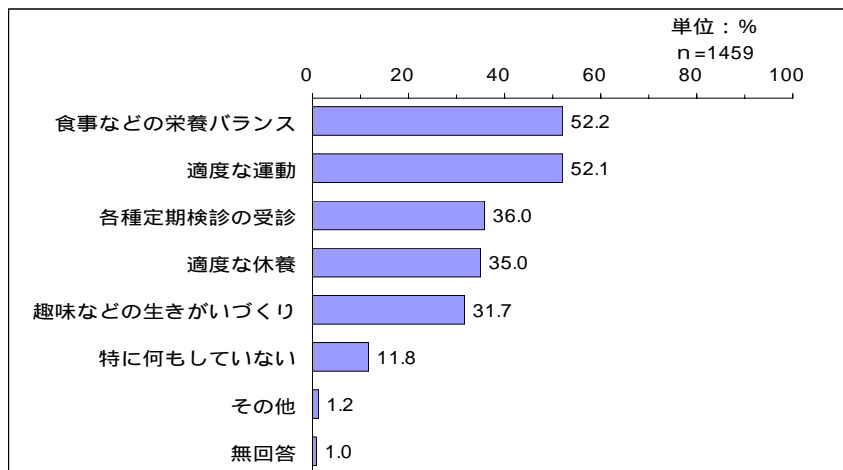
(12) 健康のため心がけていること

施策 17 健康の維持・増進：健康維持・増進を心がけている市民の割合

「食事などの栄養バランス」と「適度な運動」が5割超

問 13 あなたが健康の維持・増進のために、自ら心がけて行動していることはどれですか。

(○はいくつでも)



自ら心がけて行動することは、「食事などの栄養バランス」(52.2%)、「適度な運動」(52.1%)とする回答が5割を超えていて多い。「特に何もしていない」という人は11.8%となっている。

【性別／年齢別】

* 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

		全体	適度な運動	適度な休養	食事などの栄養バランス	各種定期検診の受診	趣味などの生きがいがづくり	その他	特に何もしていない	無回答
合計		1459	760	510	761	525	462	18	172	15
		100.0	52.1	35.0	52.2	36.0	31.7	1.2	11.8	1.0
性別	男性	636	349	217	282	210	191	11	84	4
		100.0	54.9	34.1	44.3	33.0	30.0	1.7	13.2	0.6
性別	女性	790	397	285	462	306	263	7	82	10
		100.0	50.3	36.1	58.5	38.7	33.3	0.9	10.4	1.3
年齢	20歳代	175	73	82	88	14	56	2	31	1
		100.0	41.7	46.9	50.3	8.0	32.0	1.1	17.7	0.6
	30歳代	269	122	109	129	61	72	6	47	1
		100.0	45.4	40.5	48.0	22.7	26.8	2.2	17.5	0.4
	40歳代	225	104	66	102	90	56	3	33	1
		100.0	46.2	29.3	45.3	40.0	24.9	1.3	14.7	0.4
	50歳代	291	146	101	152	113	102	1	27	4
	100.0	50.2	34.7	52.2	38.8	35.1	0.3	9.3	1.4	
60～64歳	169	109	51	101	79	53	1	11	2	
	100.0	64.5	30.2	59.8	46.7	31.4	0.6	6.5	1.2	
65歳以上	298	192	91	168	157	112	5	19	5	
	100.0	64.4	30.5	56.4	52.7	37.6	1.7	6.4	1.7	

性別では、「食事などの栄養バランス」については女性の方が男性より15ポイント近く高く、「適度な運動」では、反対に男性のポイントの方が5ポイント近く女性より高くなっている。

また、年齢が高くなるにつれて「適度な運動」のポイントが上がっていている。

(13) かかりつけの医療機関の有無

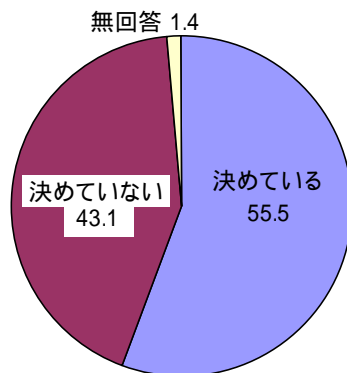
施策 18 医療体制づくり：かかりつけ医を決めている市民の割合

「決めている」が55.5%で多く、「決めていない」を上回る

問 14 あなたは、かかりつけの医療機関を決めていますか。

かかりつけ医とは、自分の体の状態を把握している身近な医者のごことで、普段の健康管理、病気の初期治療のほか、大病院での検査・治療を必要とするかどうかの判断、紹介などが期待されます。

(は1つだけ)

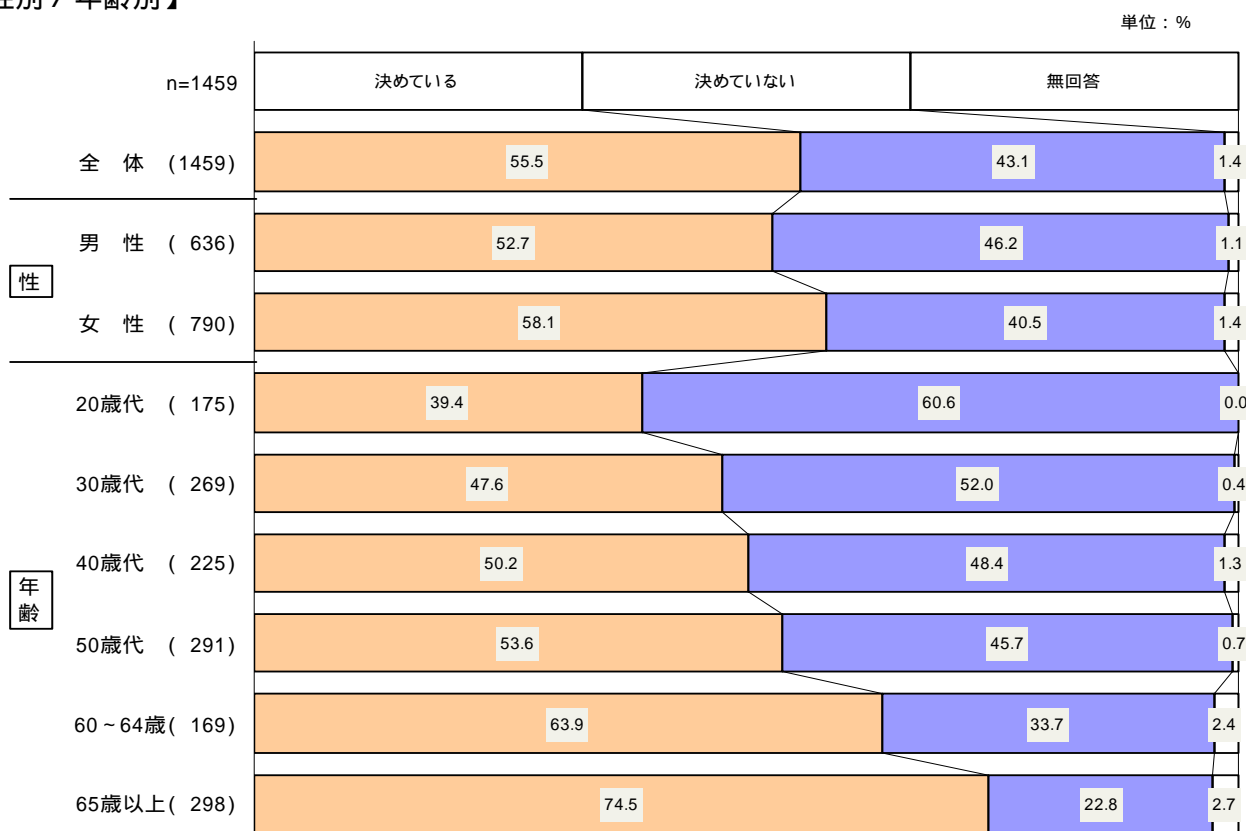


単位：%

n = 1459

かかりつけの医療機関を「決めている」という人が55.5%と半数を超え、「決めていない」という人(43.1%)を10%程度上回っている。

【性別 / 年齢別】



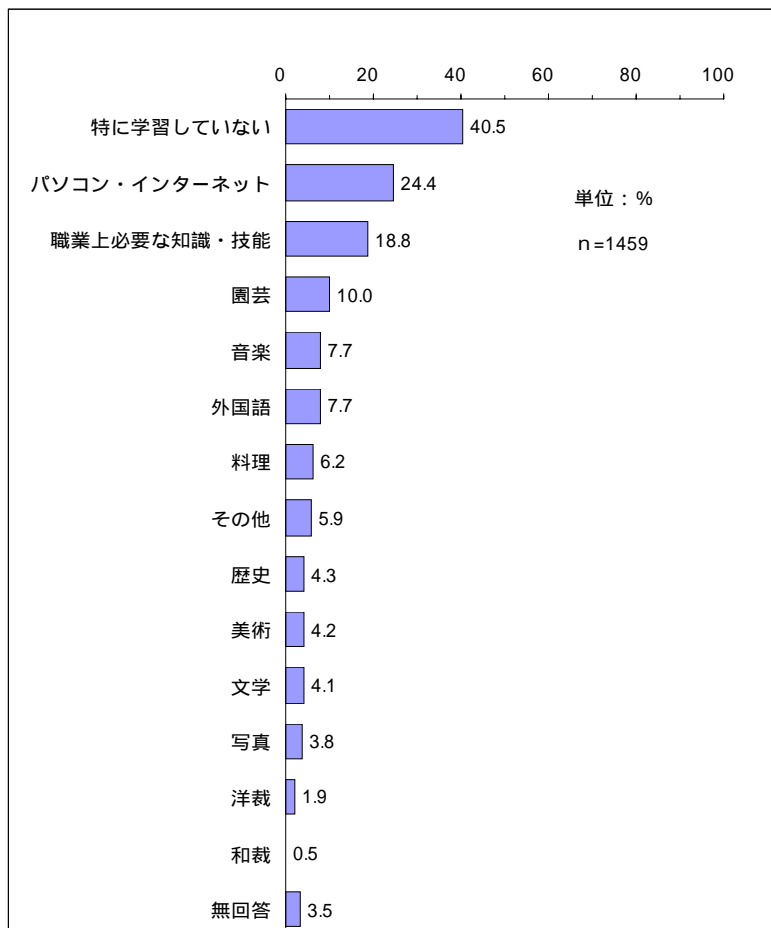
性別では、全体結果と比べ、男性は「決めていない」という人が、女性では「決めている」という人が多い。また、年齢別では、年齢が上がるにつれて「決めている」の割合が増加し、「決めていない」の割合は反対に減少していく傾向が見られる。

(14) この1年間に取り組んだ学習活動

施策 22 生涯学習の推進：生涯学習活動をしている市民の割合

「パソコン・インターネット」がほぼ4人に1人で最も高いが、多くは「特に学習していない」

問 15 あなたがこの1年間に取り組んだ学習活動はどれですか。(○はいくつでも)



「特に学習していない」とした人が4割強(40.5%)で、いちばん多いが、取り組んだ学習活動としては、「パソコン・インターネット」(24.4%) 続いて「職業上必要な知識・技能」(18.8%)、「園芸」(10.0%)などが多く挙げられている。

【性別】

* 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

	全体	パソコン・インターネット	音楽	美術	写真	外国語	文学	歴史	料理	洋裁	和裁	園芸	職業上必要な知識・技能	その他	特に学習していない	無回答
合計	1459	356	113	61	56	113	60	63	90	28	7	146	274	86	591	51
	100.0	24.4	7.7	4.2	3.8	7.7	4.1	4.3	6.2	1.9	0.5	10.0	18.8	5.9	40.5	3.5
男性	636	192	44	20	39	49	31	40	19	0	0	53	158	25	241	15
	100.0	30.2	6.9	3.1	6.1	7.7	4.9	6.3	3.0	0.0	0.0	8.3	24.8	3.9	37.9	2.4
女性	790	159	68	39	15	62	28	22	69	27	6	85	109	59	338	36
	100.0	20.1	8.6	4.9	1.9	7.8	3.5	2.8	8.7	3.4	0.8	10.8	13.8	7.5	42.8	4.6

「パソコン・インターネット」及び「職業上必要な知識・技能」では、男性のポイントが女性より、それぞれ10.1、11.0ポイント上回っている。また、「料理」、「音楽」などでは女性の割合が男性より、それぞれ5.7、1.7ポイント上回っている。

(15) この1年間に行ったスポーツの頻度

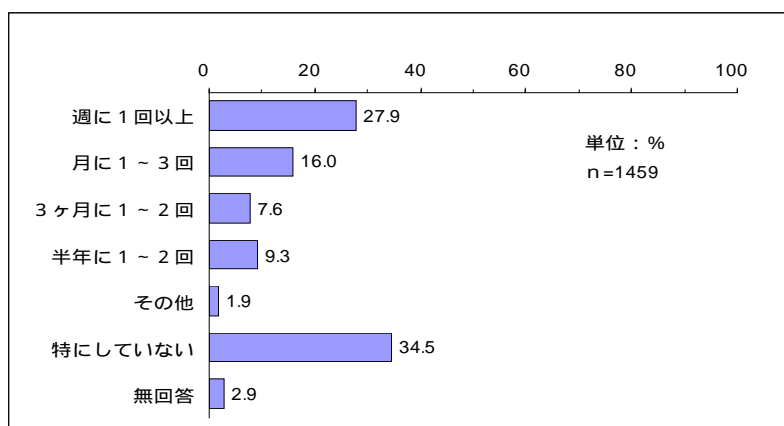
施策 23 生涯スポーツの推進：週1回以上スポーツをする成人の割合

「週に1回以上」が2割台半ばを超える

問 16 あなたがこの1年間にスポーツを行った回数はどのくらいですか。

スポーツの種類は、水泳、ジョギング、マラソン、テニス、スカッシュ、体操（ラジオ体操、健康体操など）、ハイキング、登山、ゴルフ、サイクリング、ウォーキング、サーフィン、ダイビング、スキー・スノーボード、トレーニング（器具を使うもの）、ストレッチ、なわとび、釣り、卓球、野球・ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボール、エアロビクス、バドミントン、武道（柔道、剣道、空手道、少林寺拳法など）、ダンス（社交ダンス、フォークダンスなど）、ラグビーなどです。

（ は1つだけ）



「特にしていない」(34.5%)という人が最も多くなっているが、この1年間にスポーツを行った人の中では「週に1回以上」(27.9%)が最も多く、「月に1～3回」(16.0%)が続いている。

【性別】

* 上段...人数（単位：人） 下段...構成比（単位：%）

		全体	週に1回以上	月に1～3回	3ヶ月に1～2回	半年に1～2回	その他	特にしていない	無回答
合計		1459	407	233	111	135	27	503	43
		100.0	27.9	16.0	7.6	9.3	1.9	34.5	2.9
性別	男性	636	182	114	58	65	14	188	15
	女性	790	216	112	51	69	13	304	25
		100.0	27.3	14.2	6.5	8.7	1.6	38.5	3.2

この1年間にスポーツを行った人の割合は男性 65.8%、女性 56.7%で、男性が 9.1 ポイント上回っている。「特にしていない」の割合では、女性が男性よりも 8.9 ポイント上回っている。

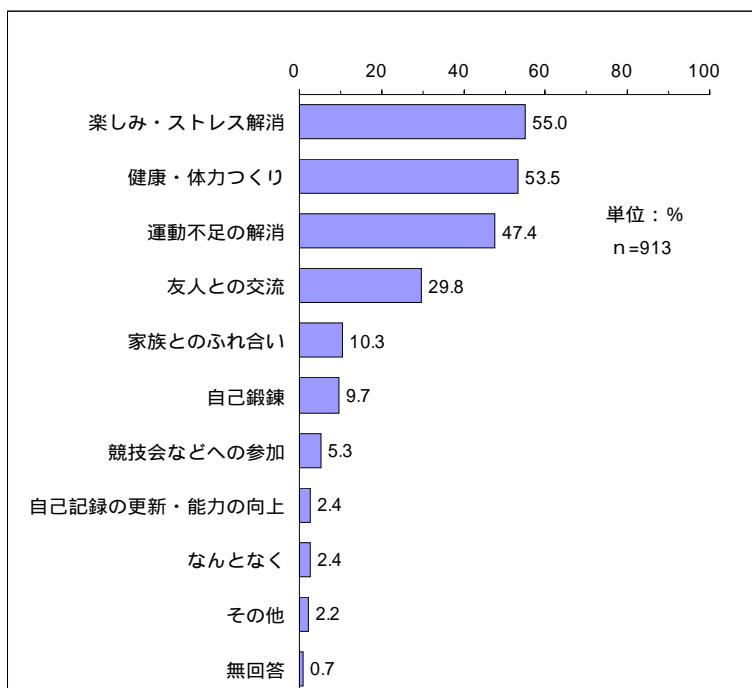
(16) スポーツをした理由

「楽しみ・ストレス解消」と「健康・体力づくり」が半数を超える

(問16で「1」から「5」とお答えの方に)

問16-1 あなたがこの1年間にスポーツをしたのはどのような理由ですか。

(○は3つまで)



スポーツをした理由では、「楽しみ・ストレス解消」という回答が最も多く(55.0%)、「健康・体力づくり」(53.5%)と「運動不足の解消」(47.4%)が半数前後となっている。

【年齢別】

* 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

	全体	健康・体力づくり	楽しみ・ストレス解消	運動不足の解消	友人との交流	家族とのふれ合い	自己鍛錬	自己記録の更新・能力の向上	競技会などへの参加	なんとなく	その他	無回答
合計	913 100.0	488 53.5	502 55.0	433 47.4	272 29.8	94 10.3	89 9.7	22 2.4	48 5.3	22 2.4	20 2.2	6 0.7
20歳代	122 100.0	42 34.4	77 63.1	48 39.3	51 41.8	9 7.4	17 13.9	8 6.6	13 10.7	3 2.5	5 4.1	0 0.0
30歳代	184 100.0	80 43.5	107 58.2	91 49.5	47 25.5	29 15.8	16 8.7	1 0.5	11 6.0	5 2.7	7 3.8	2 1.1
40歳代	144 100.0	74 51.4	78 54.2	62 43.1	37 25.7	31 21.5	8 5.6	1 0.7	3 2.1	4 2.8	4 2.8	0 0.0
50歳代	166 100.0	92 55.4	101 60.8	72 43.4	49 29.5	14 8.4	15 9.0	5 3.0	6 3.6	4 2.4	0 0.0	2 1.2
60~64歳	113 100.0	76 67.3	55 48.7	60 53.1	33 29.2	5 4.4	14 12.4	3 2.7	8 7.1	2 1.8	1 0.9	0 0.0
65歳以上	165 100.0	111 67.3	74 44.8	90 54.5	51 30.9	4 2.4	15 9.1	3 1.8	4 2.4	4 2.4	1 0.6	2 1.2

年齢が上昇するほど、「健康・体力づくり」と「運動不足の解消」のポイントが高くなる傾向が見てとれる。

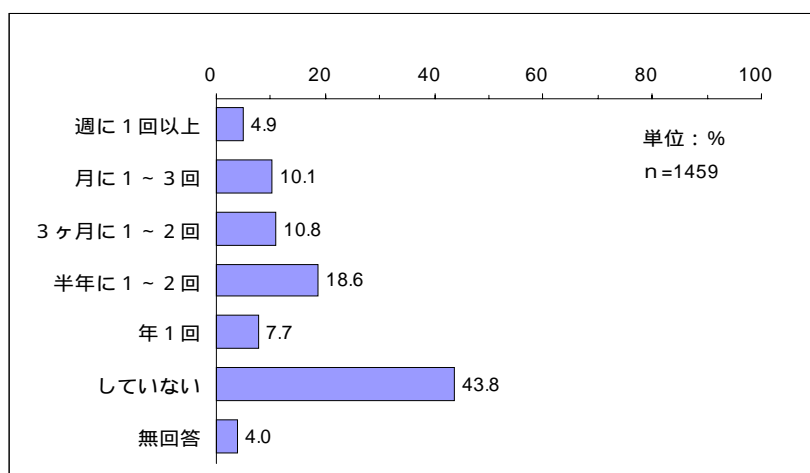
(17) この1年間の芸術・文化活動の頻度

施策 24 市民文化活動：定期的に文化活動に参加している市民の割合

「していない」という人が4割強で最も多い 参加した人では「半年に1～2回」が最も多い

問 17 あなたは、この1年間にどのくらいの頻度で芸術・文化活動に参加しましたか。(鑑(観)賞も含まれます)(は1つだけ)

芸術・文化活動の分野は、文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊、映画、漫画、アニメーション・メディア芸術、伝統芸能(歌舞伎、落語など)、茶道、華道、書道、囲碁、将棋、歴史・文化財などです。



この1年間の芸術・文化活動については、「していない」という人が4割強と、最も多くなっている。2番目に多いのは「半年に1～2回」(18.6%)とした回答で、以下「3ヶ月に1～2回」、「月に1～3回」と続いている。

【性別】

* 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

		全体	週に1回以上	月に1～3回	3ヶ月に1～2回	半年に1～2回	年1回	していない	無回答
合計		1459	72	147	157	272	113	639	59
		100.0	4.9	10.1	10.8	18.6	7.7	43.8	4.0
性別	男性	636	26	50	62	106	47	323	22
		100.0	4.1	7.9	9.7	16.7	7.4	50.8	3.5
性別	女性	790	43	96	90	162	66	300	33
		100.0	5.4	12.2	11.4	20.5	8.4	38.0	4.2

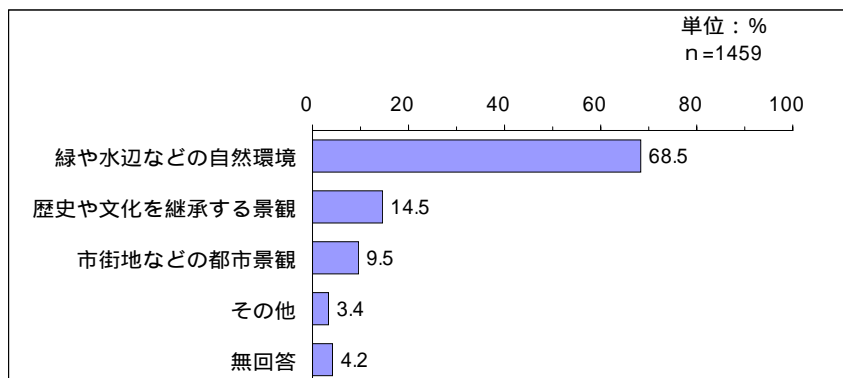
男性では「していない」が過半数に達し、女性を12.8ポイントも上回っている。それ以外の選択肢では、すべて女性のポイントが男性を上回っている。

(18) 魅力的だと感じる景観

施策 27 計画的なまちづくり：八王子の景観への市民評価度

「緑や水辺などの自然環境(景観)」が7割弱で圧倒的に多い

問 18 あなたは、様々なまちの景観のうち、魅力的だと感じる景観はどのような景観ですか。(は1つだけ)

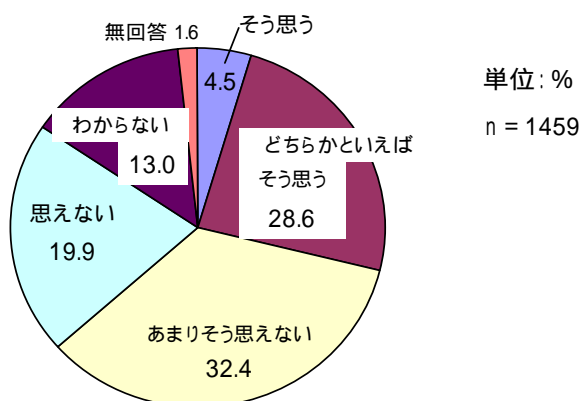


魅力的だと感じる景観として「緑や水辺などの自然環境」を挙げる回答が最も多く、7割近くに達している。次いで「歴史や文化を継承する景観」(14.5%)となっている。

(19) 市は景観に配慮されたまちであるか

“そう思えない”が過半数に達し、“そう思う”を上回っている

問 19 あなたは、市が景観に配慮されたまちであると思いますか。(は1つだけ)



市が景観に配慮されたまちであるか聞いたところ、「あまりそう思えない」・「思えない」の合計割合(52.3%)(= “そう思えない”)が、「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」の合計割合(33.1%)(= “そう思う”)を約20ポイント上回っている。

【居住地域別】

* 上段...人数(単位:人) 下段...構成比(単位:%)

		全体	そう思う	どちらか といえば そう思う	あまりそ う思えな い	思えない	わからな い	無回答
合計		1459 100.0	65 4.5	418 28.6	473 32.4	291 19.9	189 13.0	23 1.6
F9 居住 地域	本庁管内(中央地 域)	331 100.0	13 3.9	89 26.9	111 33.5	82 24.8	29 8.8	7 2.1
	元八王子・恩方・ 川口(西部地域)	237 100.0	6 2.5	54 22.8	83 35.0	53 22.4	36 15.2	5 2.1
	浅川・横山・館 (西南部地域)	288 100.0	12 4.2	90 31.3	88 30.6	53 18.4	42 14.6	3 1.0
	加住・石川(北部 地域)	110 100.0	3 2.7	28 25.5	45 40.9	22 20.0	10 9.1	2 1.8
	由井・北野(東南 部地域)	216 100.0	11 5.1	65 30.1	64 29.6	42 19.4	32 14.8	2 0.9
	由木・由木東・南 大沢(東部地域)	242 100.0	19 7.9	88 36.4	67 27.7	33 13.6	31 12.8	4 1.7

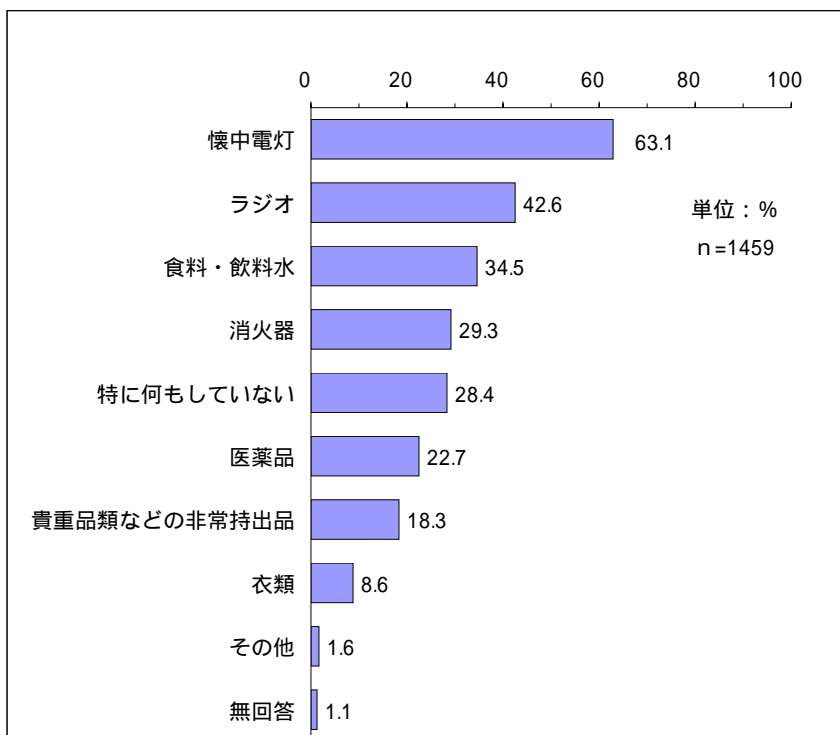
“そう思う”の割合は、市全体(33.1%)と比較して、由木・由木東・南大沢(東部地域)で44.3%とかなり高く、また、浅川・横山・館(西南部地域)と由井・北野(東南部地域)でもそれぞれ35.5、35.2%とやや高くなっている。

(20) 大地震に備えた準備状況

施策 28 安全で安心なまちづくり：災害に対して備えをしている市民の割合

「懐中電灯」が6割強でトップ 「何もしていない」は3割弱

問 20 あなたの家庭では大地震に備え何か準備をしていますか。(○はいくつでも)



大地震に備えての準備では、「懐中電灯」を準備しているとした回答が最も多い(63.1%)。「ラジオ」(42.6%)、「食料・飲料水」(34.5%)、「消火器」(29.3%)などが続いている。

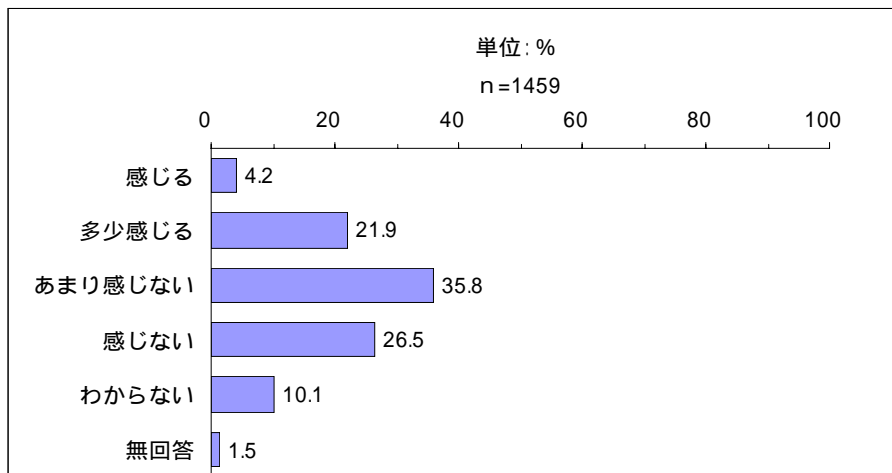
また「特に何もしていない」という人の割合は28.4%だった。

(21) 市のにぎわいと活力の有無

施策 33 体制づくりと人材育成：にぎわいと活力があるまちとを感じる市民の割合

“感じる”は26.1%、“感じない”は62.3%

問 21 あなたは、市がにぎわいと活力があるまちであると感じますか。(は1つだけ)



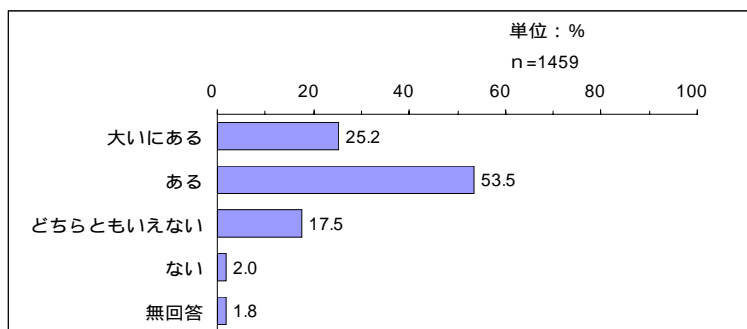
市がにぎわいと活力があるまちだと「感じる」と「多少感じる」の割合を合わせた(= “感じる”)値は 26.1%、「あまり感じない」と「感じない」の割合を合算した(= “感じない”)値は 62.3%で、“感じない”が“感じる”を上回っている。

(22) 環境問題への関心度

施策 38 環境保全体制の確立：環境に関心がある市民の割合

「ある」が8割近くで、大多数

問 22 あなたは、環境問題に関心はありますか。(は1つだけ)



環境問題に関心が「ある」(53.5%)との回答が最も多く、「大いにある」という答えを合わせると78.7%と、8割近くに達する。

「ない」という答えは2.0%しかみられない。

【性別】 *上段...人数(単位:人) 下段...構成比(単位:%)

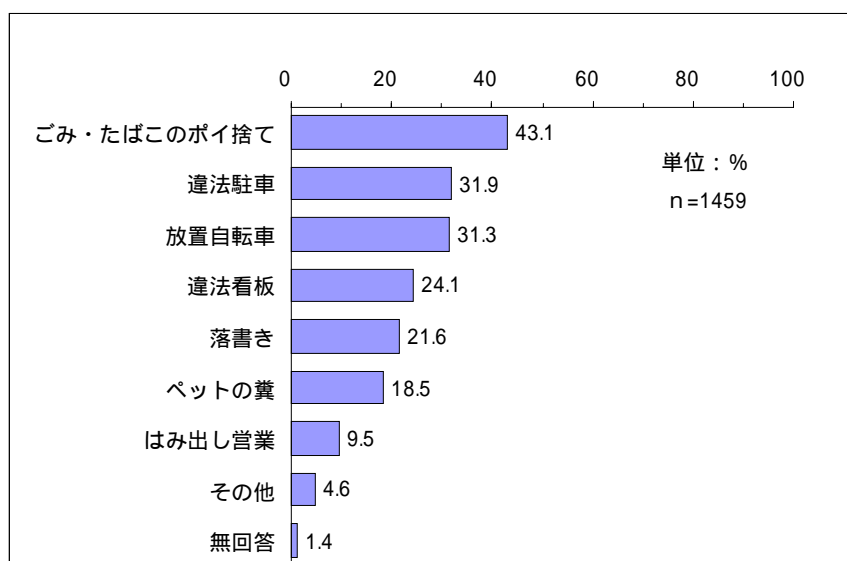
		全体	大いにある	ある	どちらともいえない	ない	無回答
合計		1459	368	781	255	29	26
		100.0	25.2	53.5	17.5	2.0	1.8
性別	男性	636	180	346	88	13	9
		100.0	28.3	54.4	13.8	2.0	1.4
性別	女性	790	179	417	164	16	14
		100.0	22.7	52.8	20.8	2.0	1.8

「大いにある」は男性が女性を5.6ポイント上回り、「ある」でも男性が上回る。一方、女性は「どちらともいえない」で7ポイント上回っている。

(23) 都市の美観が損なわれる原因

「ごみ・たばこのポイ捨て」が最も多く挙げられている

問 23 都市の美観が損なわれる主な原因は、次のどれだと思いますか。(○は2つまで)



「ごみ・たばこのポイ捨て」を挙げた回答が 43.1% を占め、第 1 位となっている。第 2、3 位はそれぞれ「違法駐車」(31.9%)、「放置自転車」(31.3%)。

【性別】

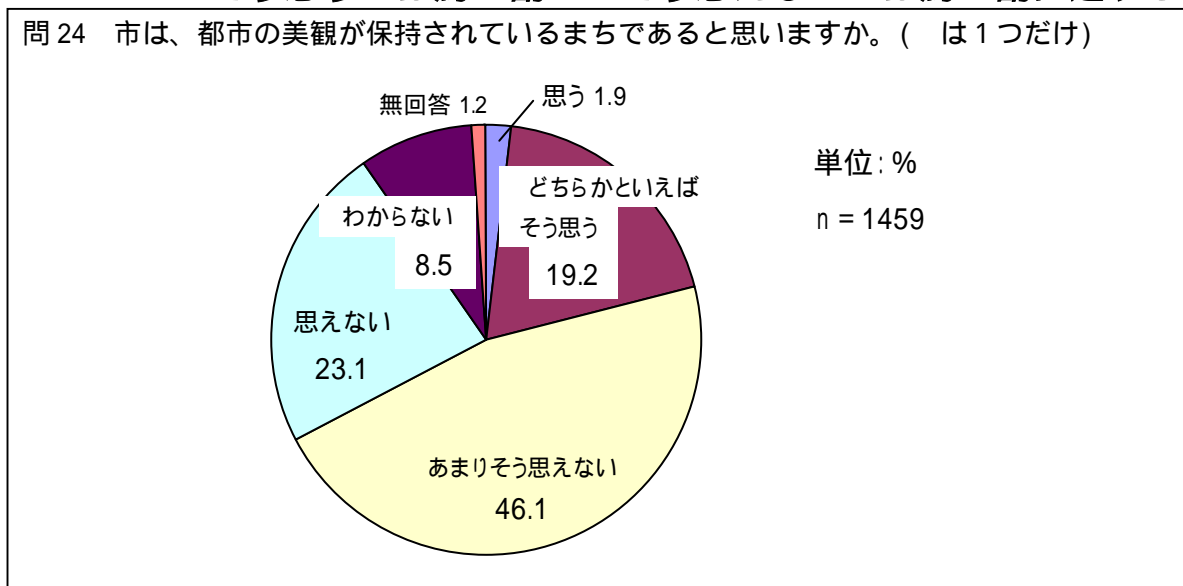
* 上段...人数 (単位：人) 下段...構成比 (単位：%)

		全体	違法駐車	放置自転車	ペットの糞	ごみ・たばこのポイ捨て	落書き	違法看板	はみ出し営業	その他	無回答
合計		1459 100.0	465 31.9	457 31.3	270 18.5	629 43.1	315 21.6	352 24.1	139 9.5	67 4.6	20 1.4
性別	F1 男性	636 100.0	244 38.4	198 31.1	95 14.9	250 39.3	142 22.3	140 22.0	67 10.5	38 6.0	13 2.0
	女性	790 100.0	216 27.3	250 31.6	165 20.9	364 46.1	166 21.0	207 26.2	69 8.7	27 3.4	6 0.8

男性では女性に比べて「違法駐車」を挙げる人の割合が高く(女性と 11.1 ポイント差)、女性では男性に比べ「ごみ・たばこのポイ捨て」(男性と 6.8 ポイント差)、「ペットの糞」(6.0 ポイント差)、「違法看板」(4.2 ポイント差)を挙げる人の割合が高くなっている。

(24) 市は美観が保持されたまちだと思うか

“ と思う ” は約 2 割 “ そう思えない ” は約 7 割に達する



「思う」という回答と「どちらかといえば思う」という回答を合計した (= “ と思う ”) 割合は 21.1% である。他方、「あまりそう思えない」、「思えない」という回答を合算した (“ そう思えない”) 割合は 69.2% であり、ほぼ 7 割に達している。

また選択肢の中で最も多く選ばれているのは「あまりそう思えない」であり、46.1% を占めている。

【居住地域別】

* 上段...人数 (単位: 人) 下段...構成比 (単位: %)

		全体	思う	どちらか といえば 思う	あまりそ う思えな い	思えない	わからな い	無回答
合計		1459	28	280	673	337	124	17
		100.0	1.9	19.2	46.1	23.1	8.5	1.2
居住 地域	F9 本庁管内 (中央地 域)	331	10	70	159	72	15	5
		100.0	3.0	21.1	48.0	21.8	4.5	1.5
	元八王子・恩方・ 川口 (西部地域)	237	3	37	123	58	15	1
		100.0	1.3	15.6	51.9	24.5	6.3	0.4
	浅川・横山・館 (西南部地域)	288	3	57	130	63	33	2
		100.0	1.0	19.8	45.1	21.9	11.5	0.7
	加住・石川 (北部 地域)	110	1	17	55	32	3	2
	100.0	0.9	15.5	50.0	29.1	2.7	1.8	
由井・北野 (東南 部地域)	216	3	36	93	58	24	2	
	100.0	1.4	16.7	43.1	26.9	11.1	0.9	
由木・由木東・南 大沢 (東部地域)	242	8	57	96	48	28	5	
	100.0	3.3	23.6	39.7	19.8	11.6	2.1	

加住・石川 (北部地域) では “ と思う ” が 16.4%、 “ そう思えない ” が 79.1% で、市全体と比べて美観の保持に関する評価がかなり厳しい地域となっている。

由木・由木東・南大沢 (東部地域) は、反対に “ と思う ” が 26.9%、 “ そう思えない ” が 59.5% で、比較的、美観の保持が評価されている地域である。

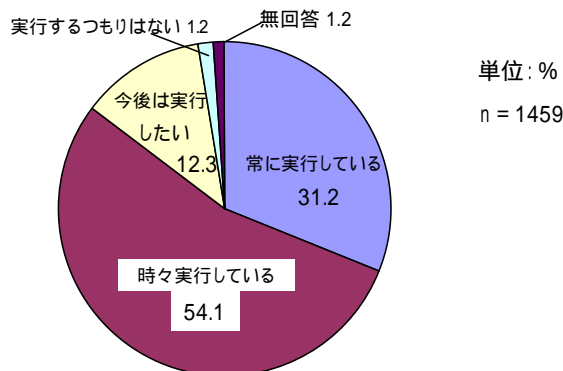
(25) 省エネ・省資源を実行しているか

施策 42 資源・エネルギーの有効活用：省エネ・省資源を意識した暮らしを送っている市民の割合

“実行している”人が8割5分を占める

問 25 省エネ・省資源のためには、冷暖房を控える、電気をこまめに消す、冷蔵庫の開閉に気を遣う、ごみ減量のためのリサイクルを心がける、マイカーの使用を控える、省エネ製品を利用する、買物用のバッグを持参して買い物に行くなどがありますが、あなたは、省エネ・省資源を意識して実行していますか。

(は1つだけ)



「常に」と「時々」を合わせ“実行している”人が85.3%と8割5分を超えている。「実行するつもりはない」という人は1.2%にとどまっている。

【性別 / 年齢別】

* 上段...人数 (単位：人) 下段...構成比 (単位：%)

		全体	常に行っている	時々実行している	今後は実行したい	実行するつもりはない	無回答
合計		1459 100.0	455 31.2	790 54.1	180 12.3	17 1.2	17 1.2
性別	F1 男性	636 100.0	158 24.8	357 56.1	100 15.7	13 2.0	8 1.3
	女性	790 100.0	284 35.9	417 52.8	79 10.0	4 0.5	6 0.8
年齢	F2 20歳代	175 100.0	36 20.6	102 58.3	33 18.9	4 2.3	0 0.0
	30歳代	269 100.0	83 30.9	155 57.6	27 10.0	4 1.5	0 0.0
	40歳代	225 100.0	63 28.0	143 63.6	13 5.8	5 2.2	1 0.4
	50歳代	291 100.0	78 26.8	169 58.1	39 13.4	1 0.3	4 1.4
	60～64歳	169 100.0	60 35.5	88 52.1	19 11.2	1 0.6	1 0.6
	65歳以上	298 100.0	124 41.6	117 39.3	47 15.8	2 0.7	8 2.7

性別にみると、女性の方が男性より「常に行っている」のポイントが11.1ポイントも高くなっている。逆に「今後は実行したい」、「実行するつもりはない」などは男性のポイントが女性より高い(ポイント差はそれぞれ5.7、1.5ポイント)。

年齢別では、65歳以上で「常に行っている」のポイントが全体の平均より10ポイント以上高くなっている。40歳代では、「常に」と「時々」を合わせると91.6%に達し、“実行している”人の割合が特に大きい。また、「今後は実行したい」では20歳代と65歳以上の層で、全体平均よりもやや高いポイントを示している。